

農園通信 9月

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り猛暑の続いた日々もようやく秋らしくなり始めました。

9月20日、今夏最後の猛暑日(AMeDAS 鳩山)となったこの日の朝、露が雑草についていました。最も暑かった今夏、最寄りのAMeDAS 鳩山ではこの夏、猛暑日が50日を数えました。



夏休み中ではありますが、9月中に、今年もダイコン組の実習を始めました。残暑というには厳しい暑さの中、学生たちは実習に取り組み、終えてから農園特製麦茶、紫蘇ジュースで喉を潤していました。また、サツマイモは猛暑の中、順調に蔓を伸ばし、様子を見に来た学生がその繁茂ぶりに驚いていました。



今年もサツマイモの花が咲きました。

農園の一角に栽培されている「すいおう」で開花しました。この品種は茎葉を食べることを目的に改良された品種で、大学でもその活用方法について研究がされていました。



サツマイモ掘りを始めました。猛暑の中、不安定となった大気の影響でまとまって降雨はありましたが、畑地は乾燥傾向でした。水分を求めて長々と根を伸ばす株が散見されています。



今年も野鼠によるサツマイモの被害が認められます。昨年、数多の食害が認められたので、冬季に対策をしたのですが不十分であったようです。夏前から畑で猫（耳がカットされていて保護猫のようです。）の姿を見かけているので鼠を退治してほしいものです。